



平成二十八年度定期総会を開催

六月十四日、市役所正庁にて、平成二十八年度定期総会を開催し、総会に先立ち、町内会等活動功労者表彰式を行いました。

今年度の表彰受賞者は五十一名で、受賞者を代表して新目弘さん(舞木町内会)が謝辞を述べられました。

総会には、委任状を含めて二百六十三名の御出席をいただき、昨年度の事業及び決算の報告並びに会費見直し再検討結果の報告を行い、また、本年度の事業及び予算の提案並びに旅費規程の制定についての提案が出され、提出された全ての議案が承認されました。

加えて、本年度新たに二つの町内会が発足したため、本会の所属団体数が三百十九となったことが報告されました。

<平成 28 年度事業計画>

1. 功労者の表彰
2. 各専門部会による事業活動
3. 郡山地区社会福祉協議会との連携強化
4. 全国自治会連合会宮城県仙台大会への視察研修
5. 郡山駅前違法客引き等防止に向けた関係機関との連携
6. その他目的達成のための事業



専門部会活動報告

環境部会では、五月二十四日、ミューカルがくと館において、市役所清掃課の職員を講師に「ごみ問題に関する研修会」を開催し、理事を中心に四十五名が参加しました。

多くの町内会でごみ問題は共通の課題であるため、参加者の関心も高く、特に町内会未加入者や集合住宅居住者に対する対応への難しさに意見が集中しました。

環境部会では、今年度、「空家問題に関する研修会」の開催も予定しています。

環境部会
ごみ問題に関する研修会



組織部会
第 1 回新任町内会長座談会



組織部会では、六月二十一日に、ミューカルがくと館において、「第一回新任町内会長座談会」を開催しました。午後一時半から行われた第一部には二十一名、午後六時が行われた第二部には十四名の新任会長が参加し、本会の役員と意見を交換しました。

参加者からは、「各町内会とも共通の課題が多く、悩みが共有できて良かった」などの感想がありました。

第二回目の開催については、決まり次第、お知らせします。

活動紹介

福島県高齢者支え合い コミュニティ支援事業

この事業は、町内会等が行う住民間の交流、高齢者の生活支援、見守り活動などのコミュニティづくりの取組を支援するため、福島県が活動に必要な経費を補助する事業（上限五十万円、一団体一回限り）で、平成二十八年四月十一日から五月十日までに対象団体の募集が行われました。

その結果、補助対象として県内で四団体が選定され、本会に所属する町内会から、下亀田自治会、緑ヶ丘東一丁目町内会、原田町内会の三町内会が選定されました。



このうち、下亀田自治会（遠藤教夫会長）では、交流サロンの開催、健康づくり体操やお話し会に取り組み、また、地域のお祭り・地域文化の伝承・勉強会・作品展の開催等を行い、住民間の交流や健康・地域づくりを図っています。

県では次年度も、この補助事業を実施する予定とのこと。高齢社会への対応は多くの町内会にとって共通の課題でありますので、積極的に取り組んでいきたいと思います。

ごあいさつ



郡山中央町内会連合会
会長 鈴木 光二

日頃から、郡山中央町内会連合会の皆様におかれましては、地域社会の活動に献身的に御尽力いただき、深く感謝申し上げます。

また、先日の定期総会では二百名以上の会員の皆様に御出席をいただき、盛況に開催できたことに對しまして重ねてお礼を申し上げます。

さて、本会は、郡山市の中央地区にあり、三百を超える単位町内会で組織されております。各町内会におかれましては、その規模、地理的条件などは多種多様であります。心豊かで住み良いまちづくり」という共通の目標のもと、地域環境の向上や住民相互の親睦・融和に、全力を傾注されておられることと存じます。

本会は、そのような皆様方の日頃の取り組みによる知恵を結集させ、よりよい地域づくりを目指しております。今後とも変わらぬ御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

平成二十八年役員体制

本年度の役員体制について、左表のとおり決定いたしました。

- 会長 鈴木光二(大槻中央)
- 副会長 宗像金三(芳賀)
- 酒井博之(開成)
- 坂本 大(桃見台)
- 國分晴朗(久留米)
- 事務局長 久保田義雄(大成)
- 会計 影山洋二(小山田)
- 総務部会
- 部会長 柳沼 悞(大島)
- 副部会長 藤橋定行(桑野)
- 組織部会
- 部会長 国分信義(開成)
- 副部会長 関本賢治(大槻中央)
- 環境部会
- 部会長 増子哲也(東部)
- 副部会長 山崎五郎(菜根)
- 社会部会
- 部会長 佐久間清一(大槻中央)
- 副部会長 久保田豊實(名倉)